

2022.04.14. 木曜礼拝

「主のもとに帰る」エレミヤ書 3 章

JD ファラグ牧師

それでは、今夜はエレミヤ 3 章です。木曜日の夜は聖書を書ごと、章ごと、節ごとに読んでいます。お気づきと思いますが、一度に 2 章、3 章と進めないことに、ご理解をお願いします。しかし、この最初の数章は、今夜ご覧いただくように、とても重要な基礎となる章なのです。ですから、特にこの書の冒頭は、急いで読み進めたくないのです。なぜなら、この章がある意味、全 52 章で見るべきものの土台となるからです。今は見ないでくださいね。そこにたどり着くまでに携挙があると思いますが、52 章に行くまでにと願っています。今夜の聖書の学びに、神の祝福を求めましょう。よろしければ一緒に祈りましょう。天のお父様、主よ、あなたの御言葉に感謝します。この書に感謝します。あなたが召されたこの男、エレミヤに感謝します。預言者エレミヤ、涙の預言者エレミヤに。主よ、彼を用い、彼に靈感を与え、何世代をも経た私たちのために記録して下さったことを感謝します。なぜなら、こんにちの世界に生きる私たちにとってもふさわしいものだからです。主よ、今私たちがあなたの御言葉に触れるとき、御言葉が私たちの中に入ってくださいますように。私たちは聖書を調べますが、実際には、聖書が私たちを調べ、私たちの心とたましいを調べるのです。ですから主よ、私たちの心に自由に入って来てくださり、私たちに働き、語ってくださいますように。主よ、あなただけがお出来になるように、そしていつも忠実であられるように、励ましが必要な人をあなたが励まし、力が必要な人をあなたが力づけてください。イエスの御名によって、アーメン。

それでは。この 3 章では、繰り返し出てくる言葉、テーマがあります。「Return/帰る」です。原語では、この言葉が 18 回何らかの形で使われています。「主に帰りなさい」Return/帰る 神は預言者エレミヤを通して、民に悔い改めと背信から帰ってくるように呼びかけておられるのです。もう一つの言葉は「背信」です。その言葉が、この章で 7 回使われているのをこれから見ていきます。預言者エレミヤからユダの民へのメッセージの全体像をこれから見ていきます。北イスラエル王国への言及も見えていきます。しかし、ここではユダです。そして、それは非常にシンプルに、「悔い改め、背信から帰ってきなさい」というメッセージです。それが、この章全体のメッセージです。さて、本題に入る前に、このことの重要性をいくら強調してもし過ぎることはないでしょう。しかし、私たちは、神の民としての私たちへの神の愛というレンズを通して、これを見なければなりません。なぜなら、もし私たちがそのレンズを通してこの章を学ばないなら、間違っ理解し、解釈してしまうからです。神が私たちに用意して下さっているものを、本当に誤解してしまうのです。これから見るものは...つまり、想像もつかないことですが、神が民に懇願しておられるのです。なぜか？ 神は民を本当に愛しておられるからです。今夜、私たちが神の御言葉の中で一緒に過ごす時間は、まさにこのことが重要なのです。この強さの理由を、先週見たように、そしてまた見ることになるでしょう。それは実に、強いのです。その強さの理由は、神が私たちに非常に愛しておられるからです。もしできるなら、神が私たち神の民に注いで下さった底知れぬ愛を理解したいと思います。では、1 節に入りましょう。さっそくですが、これです。

### エレミヤ 3

1 もし人がその妻を離婚し、女が彼のもとを去って、他人の妻となるなら、その人はふたたび彼女に帰るであろうか。その地は大いに汚れないであろうか。あなたは多くの恋人と姦淫を行った。しかもわたしに帰ろうというのか」と主は言われる。

この最初の一節は、つまり...ここの主題を決めるものです。実はこれ、申命記 24 章の最初の 4 節を引用しているんです。これは、妻と離婚する男に関する律法でした。妻は、土地が汚されないように、夫のもとに戻ることができません。そして、神は預言者エレミヤを通して、民がよく知っていたであろうこの律法を参照されているのです。神はこう仰います。

「しかし、待ちなさい。わたしはあなたをととても愛している。わたしはあなたと離婚したくない。あなたは多くの恋人がいて、姦淫を行っているのは知っている。しかし、わたしはあなたを取り戻そう。それほどわたしはあなたを愛している。あなたを愛している。」

「でも、私は自分を汚してしまった。汚れてしまった。(新欽定訳の言葉です。) それでも、私を連れ戻してくれるのですか？」—「そうです。ただ、わたしのもとに帰って来なさい」 2 節。

**2 「目をあげてもろもろの裸の山を見よ、姦淫を行わなかった所がどこにあるか。荒野にいるアラビアびとがするように、あなたは道のかたわらに座して恋人を待った。(ここでもう一度) あなたは姦淫の悪事をもって、この地を汚した。**

この「荒野にいるアラビアびとがするように...」とは、どういうことかということ、彼らは道で、略奪するために誰かを待ち構え、探しているような感じです。この荒野のアラビア人とは。言い換えると、罪が彼らを探していたのではありません。彼らが罪を探していたのです。アラビア人が、略奪するために誰かを待ち構え、探していたように。これが文字通り、民が心の中で、悪事の中で行っていたことです。この修辭的な質問は、「男と一緒に寝なかった場所がどこにあるか?」「男と寝たことがあるか?」ではありません。これは靈的な姦淫です。「あなたは姦淫を犯した。あなたが一緒に寝なかった男がいるか?」かなり強い言い方ですね? これは真実ではありませんか? というのは、彼らがやっていたように、罪を探しに行かなくてもいいのでは? 罪があなたを見つけます。心配しなくても。箴言にあります。これは非常に緩い言い換えですが、でも、基本的にはこれが要点です。「あなたが追いかけるものが、あなたを追いかける。」あなたは遠くまで探しに行く必要はないのです。つまり、もしあなたが荒野のアラビア人のように罪を求めて彷徨っているのなら心配しないでください。見つけますよ。罪があなたを見つける必要はありません。あなたが先に見つけるのです。それが、神がここで仰っていることです。さて、もう一度、この節をこのように説明することをお許してください。しかし、これは私たちにとって大きな励みとなるはずで、理由を説明します。繰り返しますが、神は民を非常に愛しておられます。そして基本的に、そのとき神が仰っていることは、今の私たちにも仰っていることでもあります。

「わたしは、あなたが何をしたかは関係ない。あなたの悪事がどれほど嘆かわしいものであっても。それでもわたしはあなたを愛している。なおあなたに帰ってきて欲しい。」これを無条件の愛、アガペーの愛と呼ぶのでしょ。う。「わたしがあなたを愛さなくなるために、あなたに出来ることは何もない。」このことは、神の恵みと憐れみについて、私たちに多くの励ましを与えてくれるはずで、ここで間もなく見ていきます。3 節。

**3 それゆえ雨はとどめられ、春の雨は降らなかった。しかもあなたには遊女の額があり、少しも恥じようとはしない。**

これは、なんというか、言葉は悪いですが、「顔に恥じらいがない」というイメージですね。あなたには恥がない。恥がありませんか? あなたは自分がしたことを恥じることを拒否します。ところでこれは、罪の結果のことです。確かに、罪の赦しはありますが、なお罪の結果はあるのです。そのことが3 節にあります。そして、実は このことは特に皮肉なことです。というのは、先ほど読んだように、彼らが靈的

な意味で姦淫を犯し、崇拜し、寝床を共にしていた異教の神々は、天気之神、雨之神、豊作之神、生産之神だったのです。それは出エジプト記の災いを彷彿とさせます。10の災いはすべて、戦略的に正確に、エジプト人の神々に向けられたものだったのです。信じられないかもしれませんが、彼らはカエル（フロッグ）を崇拜していたのです。ファラオではなく、（JD 挙手）フロッグ/カエルです。神がこう仰っているようです。「ああ、カエルが好きなんですね？ さあどうぞ。」そして、カエルの災いです。エジプト人はナイル川を崇拜していました。「おお、あなたはナイル川を崇拜するのか？ わたしはそれを血に変えよう。」どうですか？ 災いのひとつひとつが、その神々のいずれかに向けられたものであり、それが神のご方法でした。エリヤのことも思います。全く同じことです。バアルの祭司たち。カルメル山で競いました。私たちと一緒にイスラエルへ行った方は分かると思いますが。彼らはそこで、自分自身を切り裂くのです。興味深いです。彼らは叫んでいて、エリヤは楽しんでいるのです。実際に彼は、楽しみ過ぎています。私たちのために細かく記録されています。第一列王記 18 章です。間違っているかもしれませんが、18 か 19 章です。18 章だと思います。エリヤはバアル崇拝者たちにこう言うんです。「では誰の神が本物の神か見てみよう。」それは本当にイスラエルのためだったのです。なぜなら、決断しなければならなくなるからです。「あなたたちは、2人の神の間でいつまでためらうのか？ バアルが神か、エホバが神かどちらかだ。今ここで決着をつけよう。」いいでしょう。試合開始。エリヤがこう言った時のバアルの祭司たちの喜びようを想像してみてください。またお許し願いますが…エリヤは火に執着していたんだと思うのです。放火癖があったのかと思うのですが…エリヤは火の戦車で天に昇っていきましたね。この後すぐ、エリヤがイザベルから隠れていたことを覚えていますか？ その時に、大地震、大風、大きな火がありました。そしてエリヤはここで、火を下らせるのです。ただ言いたいのは、エリヤは火に執着していたのでしょ。とにかく、話を戻しましょう。エリヤは彼らに言います。「これが今からすることだ。祭壇を築いて、その祭壇の上に生け贄をおくんだ。お前たちから先にどうぞ。この生贄を焼き尽くす火が下るよう、バアルの神を呼ぶんだ。」なんということでしょう。この祭司たちはこんな感じです。

「決まりだ。どこにサインしようか？」なぜか分かりますか？ なぜなら、バアルとは、火の神だったからです。彼らは「これは簡単すぎるよ」と思ったのです。そして、彼らは始めます。もちろん、どうなるか、あるいはどうならないかはご存知の通りです。火は降ってきません。彼らは叫び、自分の体を傷つけるのです。エリヤは「おい、もっと大きく叫んだほうが良いかもしれないぞ。」きっとお前の神は聞こえていないんだ。休暇中なのかもしれない。トイレにいるのかも。」実際、原語ではそういう意味です。

「一息ついているのかもしれない。ちょっと待ってみれば…？」そしてエリヤは、「私の番だ。」もっと言えば、「神の番」ですね。「どいてくれ。おお、ちなみに、間違いがないように、祭壇にもっと水を注ごうじゃないか。」そこで彼らは水を注ぎます。「足りない。もっとだ。」「もっと注ぐんだ。」そして彼らは、生け贄の上にすべての水を注ぎます。そこでエリヤは、叫びもせず、切り裂きもせず、ただ神に呼びかけます。シューーン！ ああ、その場に居たかったです。火はすべてを焼き尽くしたのです。もし、私がエリヤだったら…皆さんもちろんご存じのように、エリヤは最後に…エリヤが偽預言者 450 人を刺し殺したため、イザベルがエリヤを殺そうとしたのです。もし私がエリヤだったら、私は…まあ、だから私がエリヤではないのですが。皆さんも同じですよ。そんな霊的な目で見ないでください。私なら、もう少し楽しみたかったと思います。「もう一度やってみたいか？ 2倍かチャラになるかかけてみるか？」 — (笑) — これに臨床用語があることは分かってます。これがここで起こっていることです。「おお、あなたは天候や豊作や、生産や雨の神々と寝床を共にしているんですね。分かりました。」先週見たのと同じです。

「あなたたちはこれらの神々を崇拝しているが、あなたが困ったとき、誰に助けを求めるのか？ あなたはわたしのもとに来るのか？」そんな意味ではありませんが…「一度神々のところへ行ってみたらどうか。ああ、確かにそうだ。神々はあなたを助けられない。なぜなら、神ではないからだ。わたしが神だ。」旧約聖書を通して、私はここが強調されていると思います。「わたし”がエジプトからあなたがたを救い出した神だ。」「わたし”があなたの神だ。」「彼らはあなたの神ではない。わたし”があなたの神だ。」

**4 今あなたは、わたしを呼んで言ったのではないか、『わが父よ、あなたはわたしの若い時の友です。**

**5 永久に怒られるのですか、終りまで憤られるのですか』と。見よ、あなたはこう言ったけれども、なしかぎりのもろもろの悪を行った。』**

何と…どういう意味か？ 彼らは、出来る限りの罪を犯していたのです。思い出してください、今読んだように、彼らは実際に、罪を探していたのです。彼らは、自分たちが罪を犯す方法を探していたのです。そしてここで再び、神は、「わたしのもとへ帰って来なさい。」と仰っているのです。「わたしに向かって泣き叫び、わたしのもとに戻って来なさい。」「ええ、…でも主よ、彼らは悪事を行ったのです。邪悪で、言いようもないほどのまさに悪を。口にすることも出来ないほどです。」「分かっています。それでもわたしのもとに帰って来てほしいのです。わたしが彼らを連れ戻します。」

**6 ヨシヤ王の時、主はまたわたしに言われた、…**

これを覚えておいてください。また戻って来ます。

**…「あなたは、かの背信のイスラエルがしたことを見たか。彼女はすべての高い丘にのぼり、すべての青木の下に行き、そこで姦淫を行った。**

今夜、これを教えることを前にして、今日はこのことについて祈っていたんです。私は慎重でありたいと思います。しかし私は、極端な方へいき、強さを取り除きたくありません。これは、これらの異教の神々を礼拝する際の、性的な行為について直接語っているのです。そして、具体的にはこれらの行為が行われる場所です。そして、このために神は預言者エレミヤを通して、彼らについて言及されているのです。それは、目に余る性的不道徳であり、そして、彼らは主の目の前で、これらの忌まわしい行為と、悪と邪悪とを行ったのです。さらに、これを行う場所までも、邪悪です。

**7 わたしは、彼女がこのすべてを行った後、わたしの所に帰るであろうと思ったが、帰ってこなかった。**

…

これは北イスラエルのことです。ところで、そこはすでにアッシリアによって支配されていました。実は、このエレミヤの預言の時には、すでに 100 年が経過していたと言われていました。そこで神は預言者エレミヤを通して、イスラエルのことをユダに持ち出しているのです。その理由はこうです。

**…その不信の姉妹ユダはこれを見た。**

彼らはそこにいて、ここで言及されている姉妹を見たのです。彼らは北イスラエル王国の姉妹が同じ忌まわしい行為をするのを見たのです。そして神はここで、イスラエルに対するのと同じように招いておられます。戻って来なさいと。しかし、イスラエルは戻りませんでした。そして、その結果、彼らに起こったことを見なさいと仰っているのです。

**8 わたしが背信のイスラエルを、そのすべての姦淫のゆえに、離縁状を与えて出したのをユダは見た。しかもその不信の姉妹ユダは恐れず、自分も行って姦淫を行った。**

お聞きください。繰り返しますが、これは非常に重要です。これは、非常に強力な原則を物語っています。一緒に考えてもらいたいのです。これからこのことをさらに具体的に見ていきます。この裏切り者の姉

妹、ユダは、裏切り者の北イスラエル王国の姉妹であり、何が起こったのかを見たのに、彼らはそこから学ばなかったのです。これは、「歴史から学べ」というあの格言です。歴史を繰り返さないように、学びなさいと。さて、この裏切り者の姉妹ユダは、北イスラエル王国が行ったのと全く同じ罪を繰り返していました。いいですか、私は率直に言います。私は、直接学ぶよりも、あなたの失敗から学ぶ方がずっといいと思います。その方がずっと...どうか、私は愛をもってこう言います。私はむしろ、あなたが罪の結果に苦しみ、そのように学んだあなたを見て、その罪を繰り返さないようにすることを望んでいるのです。恐ろしいですね。言い換えると...理由があります。私たちの罪は、いつも自分よりも他人の方が悪く見えます。ほら、イエスが、そう仰いませんでしたか？ この人は、「ああ、君の目には塵のような罪があるようだね」と言うんです。ほんとですか？ どうして分かるんですか？ どうしてか教えてあげましょう。なぜなら、兄弟の目の中にあるその塵が生じた梁が、あなたの目の中にあるからです。自分の目から梁を取り除けば、その塵がただの小さな塵に見えるようになります。でも、私たち全員がそれを指摘しますね？ 誰かが「おお、彼らは本当にプライドでいっぱいだよ。」という時、どうして分かるの？ プライドがどんなものか、どうして知っているんですか？ どうしてあなたが知っているのか、教えてあげましょう。あなたはプライドが高いからです。あなたはプライドがどんなにおいか知っているんですね。なぜなら、あなたにプライドという臭いがついているからです。どうやって分かるんですか？ 「お互い様」と言いますよね。プライドがどんなものかどうして分かるんですか？ なぜわかるかという、あなたがプライドで満ち溢れているからです。ある実話を思い出します。今は主と共におられる、スタンリー・ボークです。彼があるカンファレンスで話していたことです。決して忘れません。彼が説教を終えた後に、ある人が来て、彼にこう言ったのです。牧師は本当にこれを感謝するでしょう。

「牧師さん、あなたは本当にプライドでいっぱいですね。」そして、これが彼の返答です。「兄弟よ、あなたはその半分も分かってないよ。」なんとということでしょう。その人は完全に武装解除されました。つまり、決して言葉で戦わないことです。「私がプライドでいっぱいだって？ お前はどうかんだ！？」プライド？ これって、夫婦の間で私たちがすることはありませんか？ 夫と妻、私たちは堂々巡りの議論をします。ああ、神に願います、特に夫です。「俺たちは霊的なリーダーになるんだ。」

それなら、あなたが率先して手本を示し、妻に「あなたは半分も知らない、その通りだ」と言って、謙遜したらどうでしょう。そして、その争いがいかに早く消え去り、蒸発していくかを見てください。へりくだっている人と争うのは難しいですね？ また別の話を思い出します。どうかお付き合いください。良い話ですよ。しばらく話していなかったのでお話しします。ある夫と妻は、日が暮れるまで怒ったままでいないようにしようと約束しました。そして、彼らはやりあって、徹底的に戦い、喧嘩して議論して、言い争っているのです。そして、彼らは怒ったまま寝ようとはしません。だって煮詰まりますから。朝目を覚ましたら...一晩中...です。日をまたがないで。そんなことをすると、悪魔に足場を与えてしまいますよ。そこで彼らは、意見の相違に同意し、怒ってベッドには入らない、という約束をしました。いいですね？ 時にそれは、朝の2時にもなります。そして夫がこう言うのです。「きっと彼女は両手両膝をつけて私のところに這ってくる。そして、彼女は私にこう言うんだ。『ベッドの下から出て来て、男らしく戦いなさいよ！この臆病者！』」— (笑) — ところで、牧師と牧師の妻は、喧嘩はしません。— (笑) — ある牧師が言いました。「牧師とその妻は、”激しい交わり”を持つのです。」— (笑) —

実はここには、私が戻りたいと思う深い原則があるのです。ちょっと脱線してしまいましたが。歴史から学ぶこと、歴史の教訓です。「あなたは北の同胞がどうなったか、アッシリアに捕虜にされたのを見た。

あなたはそこから学ばなかった。それどころか、もっと悪いことに、それを再現してその罪を犯している。」そして悲しいことに、南ユダは、アッシリアにではなく、バビロンに捕囚されるのです。それは、まさに「歴史に学ぶ」という原則を物語っています。

9 彼女にとって姦淫は軽いことであつたので、軽く見ていたのです。大した事ないと。石と木とに姦淫を行って、この地を汚した。さて、ここでまた慎重を期したいところです。とても生々しいですね。

10 このすべての事があつても、なおその不信の姉妹ユダは真心をもってわたしに帰らない、ただ偽っているだけだ」と主は言われる。

11 主はまたわたしに言われた、「背信のイスラエルは（よく聞いてください）不信のユダよりも自分の罪の少ないことを示した。

わお、ちょっと待って、何て？ 逆じゃないんですか？ 一違います。これは息をのみます。それはイスラエルが...ここで、思い出してください。イスラエルには良い王はいませんでした。北イスラエル部族には、主の御目に正しいことをした王は、一人もいなかったのです。北イスラエルのすべての王は、主の御目に悪を行ったのです。ユダだけに、良い王がいたのです。9人だけですが。ここでヨシヤが再び登場します。ヨシヤはその当時、9人の良い王の内の一人でした。それはユダにとって益となるものでした。ユダにはまた、神殿もありました。北王国にはなかったのです。ユダには、100年前にイスラエルに起こったことを見るというメリットもあつたのです。ですから、神はエレミヤを通して、「イスラエルは、裏切り者のユダよりも正しいことを示した」と言われたのです。神が言っておられるのは、ユダは外見上はすべて見せかけだということだ。外見上は、ユダは北イスラエルよりも霊的で正しく見えたのです。少なくともイスラエルの場合は、偽善的なことはしていませんでした。イスラエルは、かなりあからさまに罪を犯していました。しかし、ユダの場合は、外見上、自分たちは正しいと装っていたのです。しかし内面は正しくなく、裏切り者であつたのです。偽善の極みです。そして、ユダはイスラエルよりもより責任を負っていたのです。イスラエルは逆に、何が起こったのか、ユダが受けた結果を見ることができなかつたのです。ですから、ユダはより責任が重いのです。

北イスラエルには神殿はありませんでした。北イスラエルには良い王はいませんでした。北イスラエルにはヨシヤ王はいませんでした。北イスラエルには、アハブがいたのです。どうですか？ これで良く分かりますよね。12節。

12 あなたは行って北にむかい、この言葉をのべて言うがよい、『主は言われる、背信のイスラエルよ、帰れ。わたしは怒りの顔をあなたがたに向けない、わたしはいつくしみ深い者である。いつまでも怒ることはしないと、主は言われる。

13 ただあなたは自分の罪を認め、それがあなたのすべきことです。あなたの神、主にそむいてすべての青木の下で異なる神々にあなたの愛を惜しまず与えたこと、わたしの声に聞き従わなかつたことを言いあらわせと、主は言われる。

「ただあなたがすべきことは、わたしのもとにきて、自分の罪を告白しなさい。」ところで、この機会に告白することの意味を確認するのが良いかもしれません。自分の罪を告白することを、こんな風に想像しないでください。「あぁ、主よごめんなさい」理解すべきなのは、2種類の悲しみがあることです。パウロがコリント人へ、神からの悲しみは、真の悔い改めに導くと定義しています。(IIコリント7:10参照)

そして、この世の悲しみとは、基本的に捕まったことを悲しむことです。神のみこころにそつた悲しみ

は、真の悔い改めに導きます。変えるのです。それが神のみこころにそった悲しみです。それは、罪を罪として告白する悲しみです。そういう意味です。自分は罪を犯したと、聖なる神に対して告白することです。罪を罪として告白するのです。なぜなら、私たちは罪と呼ばないのが得意で、それを別の名前で呼んで、その場をしのいでいるのです。ですから、私たちは姦淫とは言いません。姦淫を、“不倫”と呼ぶのです。その方が響きがいいんです。より友好的で、よりもっともらしい。そうですね？ 違います。いいですか、もしあなたが罪を罪として告白しないなら、神は何もお出来になれないのです。神は、その罪を赦すために準備して待っておられるのです。Iヨハネ1章9節。クリスチャンの石鹸と呼ばれ、親しまれています。この箇所が大好きです。「もし私たちが自分の罪を告白するなら…」これがただすべきことなのです、イスラエル、ユダよ。「もしあなたが自分の罪を告白するなら…」ヨハネが語っています。

「神は忠実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての不義から清めてくださいます。」すべてですよ。これはお得です。一粒で二度おいしい！です。私たちがすべきことはただ一つ、「告白する」そして神は2つのことをして下さる。上手い話しです。一石二鳥です、ですね？ 神は瞬時に赦して下さり、私たちを洗い、清めて下さいます。私たちがやるべきことは、告白することだけです。立ち返ること、悔い改めることについて話しましょう。つまり、180度変わるというのは、心を変える、方向を変えるということであり、そうすれば神があなたの心を変えてくださるのです。神はあなたの中に働かれますが、決してあなたに上書きすることはありません。本物の悔い改めがあるなら、それは神からの悲しみから生まれるものです。あなたは主のもとに来て言うのです。「主よ、私はあなたに対して罪を犯しました。あなたに対して罪を犯しました。」すべきことはそれだけです。代価を払う必要はありません。既に支払われたからです。イエスが支払われました。敵に嘘をつかせて、こう言わせないでください。「ああ、お前は代価を払うことになるよ」と。どういう意味？ 何のことを言っているの？ 代価はすでに支払われました。決して敵に嘘をつかせ、あなたにこう言わせてはなりません。「ああ、それって...あーあ...わお、わお...！その件に関しては、私ならばばらく身を隠すね。数日の間は、主から距離を置くね。今すぐ赦しを求めようなんてしないさ。だって...確か、もう二度とやらないと誓ったんじゃないか？そして、君はそれをやってしまった...」サタンは、あなたの罪が支払われた十字架からあなたを遠ざけるために、出来る限りのことをします。サタンはそうさせたくないのです。サタンはあなたを遠ざけたいのです、ローマ6章14節で、パウロがローマにある教会へ書いているように。敵は私たちを支配し、征服しようとし、私たちの罪の重さと罪責感の重さで押し潰したいのです。パウロが言っています。もはや罪は私を支配しないと。(ローマ6:14参照) 罪の誘惑のことではありません。それは罪ではありません。なぜなら、もし誘惑されることが罪なら...、口にすることすら辛いですが、イエスは誘惑されたのです。これは誘惑のことではありません。栄光のこちら側では、私たちには常に誘惑があるのです。誘惑は罪ではありません。それはパウロが言っていることではありません。パウロは、罪の罪悪感と罪責感、もはや私を支配し、征服し、奴隷にし、赦しが待っている十字架から私を遠ざけるものではないと言っているのです。もうその罪の重荷を背負う必要はないのです。それが私を十字架へと向かわせます。サタンはあらゆる妨害をします。「どうだろうね、そう急がずに。今回は無理だよ。私はただ、その...、神が冷静になる時間を与えているだけだよ。神はこの件であなたにうんざりしているから。言ってみただけだよ。教会には絶対に行かないね。もし隣に座っている人が...」隣の人を見ないで下さいね。「...もし隣の人が、君がやったことを知ったら...？」いいですか、私は...だって、こんなことしても、もっと悪くなるだけです。なぜなら、これ(聖書)は3D、IMAXであなたの罪を示すからです。今はそれ以上に技術が進んでいますね。です

から敵は、あなたを御言葉から遠ざけたいのです。敵はあなたを十字架から遠ざけ、確実に交わりから遠ざけたいのです。的確に言い表しているのは、「罪はあなたを聖書から遠ざけ、聖書はあなたを罪から遠ざける」ダビデが詩編の中で語っています。

「わたしはあなたにむかって罪を犯すことのないように、心のうちに御言葉をたくわえました。」

(詩編 119:11)

サタンはそれを知っています。勘違いしないでください。サタンは、あなたや私よりも聖書をよく知っているのです。サタンは聖書を知っています。それをちょっとだけひねる方法を知っています。目新しいことは何ともありません。エバの時もそうでした。サタンはただ、それを再梱包したようなものです。壊れていないのになぜ直すのか？うまくいくなら、それを続けるのです。つまり、上手く行っているのです。サタンは常にやり続けているのです。私たちはそれに騙され続けているのですね。私たちに近づき、敵は私たちをイエスと赦しから遠ざけたいのです。14 節。

14 主は言われる、背信の子らよ、帰れ。わたしはあなたがたの夫だからである。町からひとり、氏族からふたりを取って、あなたがたをシオンへ連れて行こう。

15 わたしは自分の心にかなう牧者たちをあなたがたに与える。彼らは知識と悟りをもつてあなたがたを養う。

16 主は言われる、あなたがたが地に増して多くなるとき、その日には、人々はかさねて「主の契約の箱」と言わず、これを思い出さず、これを覚えず、これを尋ねず、これを作らない。

さて、これは何を指しているのでしょうか？ 最終的にイスラエルが復活する王国時代、千年王国を指している可能性があると言われてます。17 節。

17 そのときエルサレムは主のみ位となえられ、万国の民はここに集まる。すなわち主の名のもとにエルサレムに集まり、かさねて、かたくなに自分の悪い心に従うことはしない。

18 その日には、ユダの家はイスラエルの家と一緒にになり、北の地から出て、わたしがあなたがたの先祖たちに嗣業として与えた地に共に来る。

再び、これは王国時代の可能性はありますが、しかし、この「一緒にになり」と書かれているのは、北も南ユダもないと言う事です。「さあ、これから一緒になって、この土地をあなたに与えよう。」1948年にイスラエルは、その土地に再集結することになります。これは、いわば、聖書の預言のすべてを早送りするような預言の一つだと私は思っています。そして、1948年にイスラエルが国家として再誕生した時に、預言の時計が刻み始めたのです。19 節。

19 どのようにして、あなたをわたしの子どもたちのうちに置き、万国のうちで最も美しい嗣業である良い地をあなたに与えようかと、わたしは思っていた。わたしはまた、あなたがわたしを「わが父」と呼び、わたしに従って離れることはないと思っていた。

20 イスラエルの家よ、背信の妻が夫のもとを去るように、たしかに、あなたがたはわたしにそむいた」と主は言われる」。

これに関して少し時間を下さい。この20節を読み過ぎたくはありません。考えてみてください。主は民に向かって言われ、彼らを裏切り、姦淫して夫のもとを去った妻にたとえておられるのです。そして主は仰います。「あなたはわたしに背いた」と。これが、ここで少し考えたいことです。自分の行いが神の御心にどう影響するのか、考えたことがありますか？ 私たちは皆、神の御心を悲しませる傾向、性質を持っていることをご存じでしょう。私たちは聖霊を悲しませませす。しかし私たちはいつも、神が私たちを



どう扱うかについて、このことを裏返して話しています。誰かに「やあ、調子はどうだい？」と言われると、私はこう言って楽しみます。「人生は大変だよ。しかし神が、私を素晴らしく扱ってくださっている。」そう声をかけてみると、その人の状況を知るいい機会になるでしょう。「調子はどうだい？」「酷いよ...！でも神が、素晴らしい方法で私に働いてくださっているよ。」さて、ここで神は「ちょっと待ちなさい」と言っておられます。「わたしへの接し方はどうですか？ わたしにどう関わるのですか？ あなたはわたしを裏切りました。」考えてみてください。これは難しいですが…、こうです。あなたが行くところ、見るところ、言うところ、会話するところ、すべて聖霊があなたと一緒にいることを理解していますか。主は、あなたが見ているものをすべて見ておられます。話すことすべてを聞いておられ、あなたが見ているものすべてを見ておられます。ああ、それは様相を一変させませんか？ 聖霊が「ああ...、なんと苦しい。悲しくてたまらない。」と嘆いておられるのを想像してみてください。聖霊を悲しませるのです。さらに悪いのは、聖霊を消してしまうことです。火を消すには、2つの方法があります。水をかけて消すか、そのまま放置して、消すか。そして、私たちの中に宿っている聖霊に背いているのです。

**21 裸の山の上に声が聞える、イスラエルの民が悲しみ祈るのである。彼らが曲った道に歩み、その神、主を忘れたからだ。**

**22 「背信の子どもたちよ、帰れ。わたしはあなたがたの背信をいやす。」「見よ、われわれはあなたのもとに帰ります。あなたはわれわれの神、主であらせられます。」**

この順番に気づかれましたか？「行いを正してから、わたしのもとに来なさい。」誰かを教会に誘ったとき、その人がこう言うのを聞いたことがあると思います。人々は冗談でこういう感じのことを言うのです。「もし私が教会の中に入ったら、壁が崩れ落ちてしまうよ。」「まず自分の行いを改めた方がいいね」それってバカげたことで、お風呂に入る前に、シャワーを浴びますか？ 浴びません。主が清めてくださいます。主が癒してくださいます。あなたはありのまま主のもとに来るだけです。そうすれば、主があなたを癒されます。主があなたの背信から、癒してくださいます。これに関して最後に一つ。それから聖書の学びのこの章を終えていきます。人々を教会に来るように誘う時の例を、私はよく使います。

あなたが教会に誘うと、よくこんなことを聞くでしょう。「ああ、教会はただ偽善者の集まりだろ。」私のいつもの答え方は、こんな感じです。「ええ、もう一人いてもいいくらいだよ。おいでよ。」反対にしてみましょう。あるクリスチャンがいて...ご辛抱ください。教会ショッピングをしている人達です。教会ショッピング？ おお、なるほど。教会ショッピングについてくるものは、「何を提供できるのか」という事です。なぜなら、自分は消費者だからです。これは、本土でのことです。ご心配なく。これに関して、神は私の心に働いてくださいました。私が若かった頃、もちろんもっとエネルギーがありました。私は自分が霊的に成熟し、さらに敬虔になってきたと思っていました。だって、以前のように反応しなくなったからです。当時のように。しかし、今になって気づいたのです。それは霊的成熟ではなく、ただ年をとったのだと。あることを見て、「ああ、まあいいや。」と。しかし、若い時は、「ああ、やろうぜ！」そうですね？「私たちは教会ショッピングをしているんです。」おお、そうですか。本当に申し訳ないですが、私たちは消費者のいる教会ではありません。親しい交わりのある教会です。だから、別の教会を探してください。ところで、良い知らせがありますよ。良い事です。もしあなたが、教会ショッピングしていて、完璧な教会を探していて、完璧な教会を見つけたとしたら、そこへ通い始めたらいいけませんよ。あなたが台無しにするから。— (笑) — 皆さんも聞いたことがあるはずですよ。我慢できなかったんです。いいですか、「私たちは教会ショッピングをしているんです」その核心は…、おお、そうなんですか？ 言い換

えれば、自分中心ということです。だから、自分に都合のいい教会に行くことになるんです。あなたに何かを提供してくれるから。ああ、私はあなたの時間をたくさん節約することができますよ。なぜなら、私たちが提供するものとは、それは非常にシンプルです。私たちはただシンプルに聖書を教えます。「おお、何かプログラムはあるの？」私たちはただシンプルに、聖書を教えています。「犬やハムスターを飼っている人々へのサポートはありますか？」いいえ、私たちはただシンプルに聖書を教えています。ちょっと言いすぎましたが、要点は分かりますね？ 牧師でさえも...今日の牧師には、パフォーマンスをするための多くのプレッシャーがかかっています。ああ、私は本当に嬉しいです。本当に嬉しいです。つまり、私にその可能性がないわけではありません。十分可能性があるのです。パウロがローマ人に言ったことを思い出します。

私の内にある肉は、何の良いところもない。私は根っから腐っている。(ローマ7:18参照)

こうする可能性が私にもあるのです。しかし、初期の頃に主が私に教えてくださったことのひとつに、「責任は私にない」ということがあります。私が皆さんの注目を集める必要はありません。聖霊がなさるのです。プレッシャーがなくなりました。私が教会を成長させる必要はありません。責任は私にあるわけではありません。主が、救われるべき人々を教会に加えてくださるのです。プレッシャーがなくなります。そこで、私がいつも祈るのは、羊たちを養うことです。

「ペテロよ、あなたは私を愛しますか？ 私の羊を飼いなさい。」(ヨハネ21:15参照)

「御言葉を宣べ伝えなさい。」「わたしを愛するか？ 御言葉を宣べ伝えなさい。」「羊を養いなさい。彼らは飢えているのです。ただ養いなさい。」私がすべきことは、御言葉を宣べ伝えること。私は世界で最も素晴らしい仕事を持っています。そして私は最も甘やかされた教会の牧師です。本当に甘やかされています。ここは、本当に素晴らしい教会です。なんという特権であり、喜びでしょう。悲しいことに、多くの牧師は私のように言えません。主のもとに帰りなさい。主があなたの背きを癒してくださいます。それがすべきことです。23節。

**23 まことに、もろもろの丘は迷いであり、山の上の騒ぎも同じです。まことに、イスラエルの救はわれわれの神、主にあるのです。**

次のことばを覚えておいてください。後で見てください。

**24 しかし、われわれの幼少の時から、“恥ずべきことが”、われわれの先祖のほねおって得たもの、すなわちその羊、その牛、およびそのむすこ、娘たちをことごとくのみ尽しました。**

**25 われわれは”恥の中に”伏し、はずかしめにおおわれています。…**

そして最後にここです。

**…それはわれわれと先祖とが、われわれの幼少の時から今日まで、われわれの神、主に罪を犯し、われわれの神、主の声に従わなかったからです。」**

これが、真の悔い改めに導く神の御心にそった悲しみです。さて、これが第4章の最初の4節にむすびつきます。主の御心なら、来週学びますが、始めにみた”愛”という言葉で、終わりにしたいと思います。

愛「わたしはあなたを非常に愛している。」なぜ...これが質問です。一言で答えてみましょう。

なぜ神は...、彼らが神に対して行ったすべての恐ろしい、言いようのない罪、邪悪さ、悪を犯した後に、なぜ神は、彼らに懇願しておられるのか？「帰って来なさい。わたしがあなたを連れ戻す。」愛です。

愛「私がすべてをしてしまった後に、それでもあなたは私を愛しておられるのですか？」「はい。」

むしろ、それ以上に私たちを愛しておられると言えるでしょう。一番注目されるのは、最も病んでいる子

どもではないでしょうか？ 特別なニーズとでもいうのでしょうか。恥の中に横たわり、咎が私たちを覆っているのです。これは**ローマ人への手紙 8章 1節**です。ところで、ローマ人への手紙 8章の全体です。1節。

**「そういうわけで、もはやキリストにある者が、罪、恥、罪責感に定められることはありません。」**

キーワードは、「キリストにある者」これは、主のもとに来ていない者は当てはまりません。主の内にいる者です。なぜなら、もしあなたが主のもとに来て、主の内にいるならば、恥も、罪悪感も、罪責感も、すべてなくなってしまうからです。東が西から遠く離れているのと同じように、取り除かれます。神はもう覚えておられません。神が私たちをご覧になるとき、私たちの罪ではなく、御子をご覧になるというのは、とても的確な言葉です。そして私たちは、一度も罪を犯さなかったかのように、義とされるのです。その罪は緋のようでしたが、主が雪のように白くされました。神は私たちの恥を負い、罪を負った御子を通して、私たちを見ておられるのです。私たちはそのことを、日曜日にお祝いします。イエスは私たちの罪、恥、罪悪感をすべて引き受け、代償を払ったのです。完了しました。完了したのです。他に話すことはありません。ですから、「もし罪を犯したら」ではなく、「罪を犯した時」、私たちがすべきことはただ、神のもとに来て、「私はあなたに対して罪を犯しました。」と自分の罪を告白することなのです。「私がしたことは罪深いことです。しかし、あなたは赦してくださいる神です。私はとても恥ずかしく思い、罪悪感にさいなまれ、この非難にまみれてしまっています。私があなたに対して罪を犯したからです。しかし神は、しかし神は、神は赦してくださいます。」神は常に私たちを連れ戻されます。神はいつも両手を広げて待っておられます。私たちがすべきことはただ、神のもとに帰り、戻って来ることです。それほどシンプルなのです。カポノ、上がって来て下さい。お立ちください。祈りと歌で締めくくみましょう。そこには、ほとんど沈痛な、畏敬の念があります。なんとと言えるでしょうか。言葉があればいいのですが。しかし、神が私たちに対して抱いている愛を十分に表現し、伝えることができるほどの言葉は、英語にはありません。神は本当に私たちを愛しておられます。私たちが罪を犯してしまうとき、神が驚かれるとは決して想像しないでください。私たちが罪を持って神のもとに来るだけで、すでに解決されたのです。イザヤ書では、あの有名な一節があります。

「主の御目には、私たちの義は不潔なぼろ布のようだ」(イザヤ 64:6 参照)

それだけでかなり生々しいです。しかし主の御前で、私たちの義は不潔な布のようなのであれば、主の御前で、私たちの罪とは、どんなものなのでしょう。ここで見たばかりですが、主の御心なら、来週またみることになるでしょう。「あなたは罪を犯しました、しかし、わたしはあなたを赦そう。ただ、わたしのもとに来なさい。帰ってきなさい。」

天のお父様、あなたに十分に感謝することは、不可能です。特に、ここに居る方、オンラインを見ている方の中で、敵が活発で、あなたは打ち倒され、弱らせられているかもしれません。主よ、今夜が文字通り、あらゆる意味でターニングポイントとなることを祈ります。転機となることを。あなたのもとに戻り、帰ってくることを。神のみこころに沿った悲しみは、真の悔い改めに導きます。主よ。私たちがあなたのもとに来るとき、あなたは私たちから顔を背けられないことに感謝します。私たちを見捨てられません。あなたは私たちを拒否することはなく、決して捨てられません。そして、どんなことであっても、あなたはいつも赦してくださいます。あなたを否定する罪を除いては、あなたが赦されない罪はありません。主よ、あなたが私たちのすべての罪の贖いのために血を流されたことに感謝します。主よ、私たちが赦されていることに感謝します。あなたの私たちへの愛に感謝します。主よ、私たちはあなたを愛していま

す。このように愛して下さいありがとうございます。イエスの御名によって、アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7